

令和3年度 第3回大田区高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進会議

1 Web・書面会議の併用による会議開催にあたっての意見聴取について

令和4年2月9日（水）開催の「令和3年度第3回大田区高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進会議」について、新型コロナウイルス感染症再拡大防止の観点から、Web会議と書面会議の併用にて開催することとした。

書面会議でご参加の委員については、令和4年2月7日（月）を期限に意見書の提出を依頼した。いただいた意見・質問について、以下のとおり一覧としてまとめた。本資料は、委員及び庁内委員に会議の参考資料として電子メールまたは郵送により、情報提供する。

2 各委員からの質問

下記に、各委員からいただいた質問をまとめる。

資料番号	ご質問と回答要旨
	特になし

3 各委員からの意見

以下に、各委員からいただいた意見をまとめる。

資料番号	ご意見
1-2 (参考資料)	<ul style="list-style-type: none"> ・少しでも多くの実施項目を増やすため、ぜひ、私も微力ながら取り組みたいと思います。 (1) 推進・支援について <ul style="list-style-type: none"> ・次に「注力していく項目」等、目標設定を本会議で共通認識を図り、一体感をもって取り組めるとよろしいかと思ひます。 ・得点率が50%以下の項目、70%以上の項目と、得点率にばらつきがあります。そこで、例えば、次に、「注力していく項目」としての提案ですが、下記のように目標設定をするとよろしいかと思ひます。 <ul style="list-style-type: none"> ・方向性：得点率にばらつきをなくして平準化を図る ・項目：(5) 介護予防等を、29%→50%を目指す
2	<ul style="list-style-type: none"> ・蒲田地域認知症地域支援推進員連絡会の取組について <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の普及啓発について、対象者を、子育て世代・こども向けに選定して実施した事は、素晴らしいと思ひます。 ・区内全域で一体的に上記対象にむけて、取り組む事が必要と思ひます。 ・プログラムは、本事例をもとに再構成するなど、「統一したプログラム化を行い」展開をしていくことが良いと思ひます。 ・本目的である、認知症についての理解はもちろんのこと、 <ul style="list-style-type: none"> ①介護についての興味を持ってもらう

	<p>②未来の介護従事者への先行取り組みの1つにもなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここで、提案になりますが、本取組のように、子育て世代・こどもへのアプローチとして、未来にむけて、基本理念である、「高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまち」をつくるためにも、「福祉教育」を、計画的に展開し続けることは、取り組むべき重要事項の1つだと思います。 ・未来にむけて、現在から、種を植えておく仕組み（事業）を行い、基本理念を達成し続けるための「予防的取組」が必要と考えています。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・P2 フレイルの種類と区の取組の方針について ・各地域の取組について、区、社協が協力すべき（リーダーシップを図る事項）事の理解を進めるためにも、現状把握を行う必要があると思います。 ・「各地区の取組」は、カテゴリーにわけると良いかと思います。それにより、取組の偏り、取組やすさが、見えてくると思います。